

## 事業報告書（令和5年度）

### 1 事業概要

本会社の「県民の良好な生活環境の確保及び地域環境の保全に寄与すること」という設立目的に基づき、廃棄物等の安全かつ適正な処理、ごみ削減に向けた3Rの推進及び環境保全のための啓発等に関する事業を実施。

#### ○公益目的支出計画に基づく事業

- ・すさみ建設残土処分場運営管理事業
- ・循環型社会形成のための啓発推進事業

#### ○その他の事業

- ・大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入等業務受託事業
- ・公社管理運営事業

### 2 個別事業の概要

#### (1) すさみ建設残土処分場運営管理事業

公共事業の円滑な実施を図るため、和歌山県が設置した公的建設発生土受入施設（西牟婁郡すさみ町大鎌669番地）を有償で利用し、西牟婁振興局及び東牟婁振興局管内の公共事業等により発生する建設残土を受入れ。

令和5年度の受入量は、16,743トンで、令和4年度の受入量14,227トンから約17.7%増加。これは一部の県営工事で一時的に切土による排出残土量が増えたことによるもの。全体としては、工事間での残土の流用等による残土処分量の減少傾向は継続。

受入残容量は5年度末で11万7千トン（4年度末約13万4千トン）。

#### <受入量の推移（平成16年度～令和5年度）>

年 度	受入量（t）	年 度	受入量（t）
平成16年度	29,995	平成26年度	17,746
平成17年度	20,815	平成27年度	26,242
平成18年度	31,431	平成28年度	65,133
平成19年度	12,030	平成29年度	54,989
平成20年度	20,093	平成30年度	126,051
平成21年度	17,584	令和元年度	68,685
平成22年度	27,253	令和2年度	27,083
平成23年度	26,596	令和3年度	15,599
平成24年度	43,975	令和4年度	14,227
平成25年度	75,857	令和5年度	16,743

#### (2) 循環型社会形成のための啓発推進事業

公益目的支出計画に定めた「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的に関する事業」として、廃棄物適正処理の推進や、3R（リデュース、リユース、リサイクル）、地球温暖化防止に関する啓発など、循環型社会の形成に資することを目的とする次の事業を実施。

#### ア 食品ロス削減推進事業

食生活にかかわる3つのフェーズ【入手／消費（調理）／廃棄】における

食品ロスの削減について、アンケート調査やイベント等の実施を通じて情報発信、啓発を実施。

○食品（食材）の調達と廃棄行動に関するアンケート調査の実施

- ・前年度調査結果との比較による効果的な対策の検証。
- ・マスキングテープ（試作品）のモニター調査による改良点等の把握。

○民間団体、自治体との連携によるイベントの実施

- ・「わかやま食と暮らしプロジェクト」イベントとして、「わかやま循環計画day」を和歌山県、和歌山市、民間企業、民間団体と連携して、和歌山市本町公園にて開催。
- ・本町公園マルシェ「てとこと市」内での出展。

○調理実習教室及び「食と暮らし」座談会開催

- ・余りがちな食材を使った調理例の実習とその参加者による意見交換会。

○各種SNSの活用

- ・LINE、Instagram、Facebook、X(旧Twitter)、noteを活用した情報発信。

○ポッドキャストによる情報発信

- ・食品ロス対策を進めるために有用な情報の発信（音声配信10本）。

イ 海洋プラスチックごみ対策を主体とした環境保全教育事業（うみわかまもるプロジェクト）

海洋プラスチックごみ対策を主体とした環境教育を県民向けに実施するとともに、海洋プラスチックごみ問題に関する意識向上と問題解決に向けた行動促進を図ることを目的とした事業を実施。

○「海洋ゴミ問題に関する学習指導案」の活用実践の拡大

- ・令和3年度に作成した学習指導案に基づいた授業の導入について、校長会や教育委員会等に情報提供。
- ・6小学校及び1義務教育学校で当該学習指導案を用いた授業（座学、フィールドワーク）をサポート。

○「うみわかまもる」スクールの実施

- ・「うみわかまもる隊員」として登録した小学生やその保護者を対象に、民間の活動団体と連携し、野外での清掃活動やイベントへの出展等を行い、環境保全の大切さについて啓発。

○情報発信・広報活動の実施

- ・うみわかまもる公式サイト、YouTubeチャンネルの運営。
- ・路線バス車体広告などにより、活動状況についての情報発信。
- ・オリジナル動画による啓発・広報活動を実施。

ウ エコグッズ普及事業

- ・環境保全意識の醸成と高揚を図ることを目的に県・市町村、民間団体等が実施する環境保全活動の参加者に対して、主催団体を通じて「レジバッグ」を配布。

エ 「おもしろ環境まつり」への参画

- ・当該イベントの実行委員会に委員として参画し、県内の環境保全等に関する活動を行っている民間団体等とともに、環境に関する問題提起とその対策の大切さなどについて参加者に情報提供（参加者約800名）。

オ ラジオ放送による3R推進の啓発

- ・県と協力し、月1回のラジオ番組で3R推進等に関する情報提供を行う

ことにより、3Rの推進や不法投棄の防止、ごみ問題解決等に向けた一人一人の取組について啓発。

カ 公社のホームページを活用した3R意識調査の実施

- ・ホームページにて、3R意識に関するアンケート調査を行い、ごみ問題や3Rの推進に関する県民の知識や意識、行動についてのデータを収集するとともに、その実践について啓発。

キ 不法投棄及び3R推進キャンペーンの実施

- ・和歌山県及び和歌山市と連携して、和歌山市内にラッピングバス（車外啓発広告を掲出した路線バス、5台）を走らせ、不法投棄防止及び3R推進を啓発。

(3) 大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地における廃棄物受入等業務受託事業

大阪湾広域臨海環境整備センター和歌山基地（和歌山市湊2675-26（日本製鉄（株）関西製鉄所和歌山地区内））に搬入される廃棄物等の受入れを行い、積込施設を使用して海上輸送船に積み込むまでの業務を受託。

令和5年度の和歌山基地における産業廃棄物等の受入量は136,474トンで、前年度に比べ一般廃棄物は2.0%減少し、産業廃棄物のうち鉱滓で6.4%、ばいじんが74.3%増加し、産業廃棄物全体では8.9%の増加。受入量全体として、対前年度比6.7%の増加。

なお、大阪湾広域臨海環境整備センターは、大阪湾圏域の広域処理対象区域の廃棄物を適正に処理し、生活環境の保全を図ることなどを目的として、広域臨海環境整備センター法により昭和57年3月に近畿2府4県のほか関係市町村等の地方公共団体174団体及び港湾管理者4団体の出資により設立された特殊法人。

<和歌山基地の受入量の推移（平成16年度～令和5年度）>

年 度	受入量 (t)	年 度	受入量 (t)
平成16年度	134,560	平成26年度	125,103
平成17年度	178,690	平成27年度	139,602
平成18年度	218,061	平成28年度	106,224
平成19年度	212,026	平成29年度	117,193
平成20年度	234,906	平成30年度	109,632
平成21年度	157,026	令和 元年度	138,780
平成22年度	193,145	令和 2年度	141,823
平成23年度	139,592	令和 3年度	134,124
平成24年度	116,394	令和 4年度	127,930
平成25年度	125,438	令和 5年度	136,474

(4) 公社管理運営事業

本公社の設立目的を達成するため、本部において公益目的支出計画に基づく事業及びその他の事業に係る企画、運営管理を行うとともに、本部、2現場事務所（和歌山基地作業所、すさみ管理事務所）に係る人事管理、労務管理等を実施。また、公社保有の金融資産を安全で有利な運用を図ることで、運用益を確保した。